

もりのものがたり

100年後の森林のために
みどり

春号

第11号



◎ 小山田斎宮社叢(古賀市小山田)

参道から本殿にかけてと、本殿裏手の二つの自然群落で、面積2,000m²に群生するブナ科スダジイとイチイガシを中心としたもので、昭和58年3月19日に福岡県天然記念物の指定を受けています。イチイガシ樹高約17m幹囲4m10cm推定樹齢約1,100年

新年のごあいさつ

福岡県広域森林組合

代表理事組合長

白井 正臣



います。

れた一年がありました。

当組合におきましても、この様な事案が発生しないよう、「コンプライアンス態勢の確立に向けて更なる努力が必要であるものと考えています。

昨年7月に発生しました九州北部豪雨において、福岡県朝倉市・東峰村・添田町、隣接する大分県日田市に甚大な被害が発生しました。被害を受けられ、今なお多くの方々が避難生活を余儀なくされています事をお見舞い申し上げますとともに一日も早く復興が進む事を願います。

森林組合系統では、「効率的・安定的な林業経営による組合員の利益向上」、「林業・関連産業活性化による地域社会の活力創造」、「森林の持つ多面的機能の高度発揮による国民生活への貢献」を目的とした『Forest 森林・林業・山村未来創造運動』を展開し3年目を迎えます。

当組合も、合併6年目を迎えることになりますが、森林・林業を取り巻く

情勢は厳しい状況が続いています。

組合としても対処すべく、「第1次

中期経営計画」(平成28年度～平成32年度)を作成し、森林組合系統運動とともに、組合の事業・運営に取組んで

組合事業の中なかで、「素材生産量5万m³体制への基本計画」による林産事業も、森林経営計画の樹立等を推進し利用間伐・主伐事業の事業拡大を行い計画達成に向け努力します。

また、森林整備事業で行っていますが、平成30年度以降も継続して実施していく事で決定されました。森林の有する公益的機能の発揮に向けた森林整備が新たな取組の中で実施されますので、当組合としましても、事業内容や推進等の検討を行い事業実施に向けて準備を行います。

また、国レベルでの環境税の導入については、森林組合系統などからの粘り強い要望がようやく実りまして、「森林環境税(仮称)」及び「森林環境譲与税(仮称)」の創設と言う形で平成31年度からの実施決定となりました。環境と言う観点から林業に目を向けていく事が徐々に拡大し、環境と言う側面からも理解と支援が得られれば、ますます社会的地位の向上に寄与出来るのはないかと期待しております。

我々森林組合も役職員一同、組合員

の皆様とともに林業の振興と地域の再生に頑張ってまいる所存でありますので今後ともよろしくお願ひいたします。

最後になりますが、この一年が希望に満ちた年でありますとともに組合員の皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶をいたします。

基本理念

福岡県広域森林組合は、組合員とともに森林(りんりん)を守り林業の活性化・地域振興を目指すために次の基本理念を掲げます。

一、森林の恵みに感謝し、豊かな森林を未来に引継ぎます。

一、活力に満ちた人づくりで、林業と地域の活性化に努めます。

謹んで新年のお慶びを申しあげます。組合員及び家族の皆様方におかれましては、健やかな新年を迎えたことをお慶び申し上げます。

また、組合の事業並びに運営につきましては日頃よりご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、記憶に残るいろいろな出来事がありました。北朝鮮からのミサイル発射実験は、日本の安全危機態勢への不安を高め、改めて安全管理態勢の構築がもとめられます。

また、大企業である東芝が粉飾決算の発覚がきっかけとなり、巨額の損出を出し、東証一部へ転落という「ユースも飛び込んでまいりました。

森友・加計学園問題では、「忖度」という言葉が連日メディアに取り上げられ、今もこの問題の追及がなされており、コンプライアンスやガバナンスの欠如があり、その重要性が再認識さ

座談会お世話になりました

平成29年11月27日から12月15日まで10地区にて総代地区座談会を開催いたしました。

お忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。

今回は、①組合員運営組織（次期総代定数）、②推進員制度、③森林経営規程の3件についてご説明いたしました。



福岡市地区の座談会の様子

組合員運営組織（次期総代定数）につきましては、選挙区ごとの組合員数に対する総代定数の割合が、住居移動等により割合が崩れてきました。そのため見直すと共に、次期総代定数を現在の200名から250名へ変更を行う内容のご説明をしました。



糸島市地区の座談会の様子

推進員制度については、他組合の状況を調査し推進員の役割が案内文書・資料の配布等にとどまっている事や、当組合の組合員数に対する推進員数が多数になる為に選任が難航する恐れもある事など問題があり推進員の設置はしない事の説明をおこないました。

また、第5回通常総代会第7号議案から第10号議案、森林法、森林組合法の改正に伴う定款・諸規程の変更について、慎重に審議していただきましたが、森林経営規程につきまして更にご理解を頂くためにご説明をいたしました。

各地区総代の皆様からは活発な意見等も頂きました。今後の事業運営の参考にさせていただきます。

理事会報告（平成29年度）

第3回（平成29年9月14日）

○付議事項

第1号議案
職員の採用について

第2号議案
福岡南支店筑紫野支所移転について

第3号議案
総代地区別座談会の開催について

第4号議案
平成29年度監査計画について

第5号議案
理事との契約について

第6号議案
平成29年度コンプライアンス及び関連研修実施計画について

◎報告事項
①役職員研修の行程等について
②8月1日付人事異動について
③「森林・林業の振興に関する要望」、「平成30年度林業政策・予算に関する要望」について

④福岡木質バイオマス発電事業経過報告について
⑤第3回伐倒技能選手権について
⑥余裕金の運用について
⑦役員賠償責任保険の加入について
伴う負担金について

第4回（平成29年11月24日）

○付議事項

⑨安全パトロール及び事故報告について
⑩行事報告・予定について

第1号議案
総代定数の変更について
第2号議案
推進員の設置について
第3号議案
規程類一部改正について
第4号議案
機械の購入について
第5号議案
冬期賞与の支給について
第6号議案
理事との契約について
◎報告事項
①総代地区別座談会の日程等について
②全国森林組合代表者大会決議「要望書」について
③安全パトロール及び労災事故報告について
④行事報告・予定について

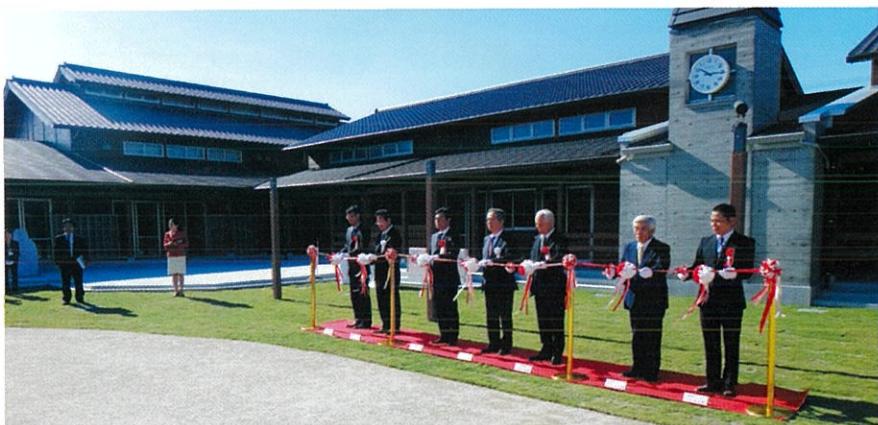
⑧福岡県林業政治連盟会費について
⑨安全パトロール及び事故報告について
⑩行事報告・予定について

④行事報告・予定について

久山町立幼稚園落成式

平成29年11月11日に『久山町立けやきの森幼稚園』の落成式が執り行われました。

『けやき』は久山町木です。町民に親しまれているけやきの木のように子どもたちが両手を広げ、空に向かって大きく立派に育つように願いを込めて『久山町立けやきの森幼稚園』とされました。



園舎正面でのテープカットの様子



落成式の様子

園舎は木造平屋建てで、材料となる木材は全て久山町産材のスギ・ヒノキが使われており、木の香り、温もりを感じられるつくりになりました。

当組合といたしましても、材料となるスギ・ヒノキ材の伐り出しから木材加工、製品の納入までお手伝いをさせていただきました。木の香る素晴らしい園舎が完成しましたことをお慶び申し上げます。



研修の様子

具体的には、作業種・作業区域・作業時間・使用機械等を日報として管理作成し、1～2週間に一回、集計したデータを基にミーティングを行っています。

この研修では、現場毎に作業種別（伐倒・集材・造材・搬出等）の生産目標値（ m^3 /人）を設定し、クリアできるよう工程管理を行います。

当組合からは、職員・現業職員4名が受講しています。

福岡県が県内林業事業体を対象に開催し、主伐の生産性向上に向けた工程管理の習得を目的とし、平成29年6月26日から平成30年3月まで延べ7日間の集合研修を当組合林産施行現場を現場研修地として行われました。

主伐研修



現地での研修

また、作業の中で感じた事（反省点・良かった点など）を報告してもらい、改善策を共有し経験録として保存しています。

研修を進めていく中で感じた事は、目標値に対しての進捗状況が一目でわかり管理が容易になる事と、作業予定表及び経験録の作成で事業全体の情報を全員で共有することが出来、作業の効率化につながります。また、ミーティング時に作業を振り返ることで経験の浅い人でもベテランの段取り方や考え方を吸収していく環境が整うと思います。

この研修で学んだ事を活かし、組合林産事業の生産性向上に繋げていきたいと思います。

伐倒技能選手権

平成29年10月11日、福岡県八女

森林組合管内にて林業労働災害防止や労働生産性等の技術向上を目的とした第3回伐倒技能選手権大会が行われました。

当組合からは現業職員9名が出場し、最優秀賞は逃しましたが、団体の部で優秀賞、個人伐倒の部で優秀賞、個人合せ切りの部で優秀賞を獲得しています。



伐倒競技の様子

●入賞した感想を教えてください。
「チームワークで好成績を目指して大会に臨みました。常日頃メンバーと共に技術を高め合っており、今回発揮することで結果として入賞できたことを誇りに思います。」



合せ切り競技の様子

組合出場者からの報告

今回の大会で個人合せ切り競技で優秀賞、そして伐倒競技団体で優秀賞の好成績をおさめた福岡北支店現業職員班長の花田博幸さん(59)に大会の感想等をお聞きしました。

●日頃から伐木造材技術で心掛けていること
「木は一本一本違うので、常に安全にそして決して伐木造材技術を怠ることがないように仕事に取り組んでいます。」



左から 飯星、花田班長、伊藤副班長
団体優秀賞の福岡北支店現業班

●大会に出場することで、今後どのような影響がありますか
「林業の現場は閉鎖的と言われていて、偏った技術に陥りやすい傾向にあります。しかしこのような大会に出場することは、とても新鮮であり、他の人の技術を見ると自分たちのレベルに気づき、上には上がる、みなさんがすごい技術を持つ先生でありライバルであることに気づかされました。」

●今後の伐倒大会、仕事に対しても後輩へのアドバイスをお願いします。
「若い子にはこのような大会にどんどん参加してもらって、他の人の技術を肌で感じてもらい、そしてその技術を盗んで自分のレベルアップに繋げてほしいです。」

今回お話しを伺つて、花田さんの林業への取り組み、チームへの熱い思いが伝わってきました。
今後の福岡北支店の活躍が楽しみであり、次回大会では本店チームも福岡北支店のライバルとなるよう仕事に取り組んでいきた
いです。

(聞き手 本店現業職員
班長 辻新平)



出場選手の集合写真

福岡県農林業総合試験場 資源活用研究センター便り（9）

（平成29年7月九州北部豪雨による山地災害について）

1 はじめに

昨年7月に発生した九州北部豪雨では、これまでに経験したことがないような強雨が連続して発生し、甚大な被害をもたらしました。

この豪雨による犠牲者の方々に哀悼の意を表すとともに、被災者の皆様に対してもお見舞い申し上げます。

当日の気象概況によると、対馬海峡付近に停滞していた梅雨前線に向かつて暖かく湿つた空気が流れ込んだ影響等により、線状降水帯が形成、維持され、同じ場所に猛烈な雨を継続して降らせたことから、九州北部地方で記録的な大雨となりました。（出展：内閣府防災情報のホームページ）

森林は言うまでもなく、山地灾害防止や水源涵養をはじめとする様々な公益的機能を持つています。そして、このような機能を維持増進するためには、これまで森林林業関係者が一体となつて、木材生産活動を営みながら森林の整備に取り組んできました。今回の豪雨で、森林の整備に取

全の重要性がマスコミで報道されるなど大きく注目を集めましたが、その中で流木被害等の原因として本県のスギ、ヒノキ等人工林の多さを指摘する意見もありました。

こうしたなか、災害発生直後に県では「山地災害対策チーム」を、

林野庁では「流木災害等に対する治山対策検討チーム」を設置し、山地災害の実態把握や山腹崩壊の発生メカニズムの分析を行い、対策について検討が行われています。これまでに報告された調査結果や今後の対策について、その概要を紹介します。

（1）県の「山地災害対策チーム」による現地調査の概要

現地調査では、山腹崩壊及び溪流の荒廃状況が確認され、調査に協力をいただいた東京大学の太田名誉教授から次のようなコメントが発表されました。

①森林は表層崩壊を防止するが、山地災害防止機能には限界がある。

※表層崩壊・・・山崩れには、表面の土が滑り落ちる「表層崩壊」と岩盤から崩れる「深層崩壊」の2通りがある。集中豪雨のとき起こる山崩れはほとんどが「表層崩壊」。

②今回の災害は、短時間に豪雨が集中したことにより、森林が持つ機能の限界を超えて、多数の表層崩壊が発生し、大量の土砂と流木が渓流に流出。

③天然林、人工林の区別なく表層崩壊は発生し、樹齢が20～30年を超えると少なくなる。（参考…山地災害対策チームによる現地調査写真）

（4）表層崩壊は、流木を発生させるが、伐倒された間伐材のみが降雨により流出することはない。

（5）表層崩壊発生の要因の重要度には差異があり、影響の大きいほうから（i）降雨条件（ii）地盤（地質）条件、（iii）森林（植生）条件（主に樹高）の順である。

（6）今後の流木対策として、森林の適切な整備や治山ダムなどの施設整備と併せて、早期の避難行動などのソフト対策を進める必要がある。

こうした内容を踏まえ、水害や土砂災害において、山地・山腹斜面は災害発生の原因域であるが、一方で森林は環境を保全し、林産物を供給してくれる有用な土地であるとし、木材は、温暖化防止にも役立つ再生可能な資源であり、最も有用な木材はスギ・ヒノキであることから「山地斜面の最も有効な土地利用は木材生産である」と報告されております。



山地災害対策チームによる現地調査写真（朝倉市杷木赤谷）

(2) 林野庁の「流木災害等に対する治山対策チーム」中間取りまとめの概要

このとりまとめでは、山地災害の実態把握や山地崩壊の発生メカニズムの分析検討や今後の事前防災・減災に向けた効果的な治山対策のあり方についての検討が行われ、以下の内容が示されました。（出展…林野庁ホームページ）

- ① 山地災害の発生メカニズム（参考照…図1 山地災害のメカニズムと今回の災害の特徴）
- ② 具体的な対策

● 流木災害発生のメカニズムを踏まえつつ、①(ゼロ)次谷を発生区域、流下区域、堆積区域の3つに区分し、崩壊土砂や流木の形態に

● 次谷等の凹地形に集中し、土壤の深い部分まで浸透。立木の根茎が及ぶ範囲より深い部分で表層崩壊が発生。
(施業の有無よりも地形条件の違いによる影響が大きいと考えられる。)

※ ①(ゼロ)次谷…明瞭な流路を持つたない谷頭の集水地形

● 崩壊地に生育していた立木と崩壊土砂が、著しく増加した流水により、溪流周辺の立木や土砂を巻き込みながら下流域に流下。

応じて区域ごとに対策を実施

(3) 災害に強い森づくりに向けて

山地災害の発生には、上記報告のように林況、地形、地質等様々な条件が関連しています。また、今回の降雨量は、森林が果たしている山地災害防止機能の限界を超えた強雨と言われております。さらに、これからも地球温暖化が進むと、その影響を受け豪雨の発生頻度はますます高くなるとも考えられます。

今回の豪雨災を契機に、発生原因、発生メカニズムを正しく把握して関係者で事実を共有し、それ

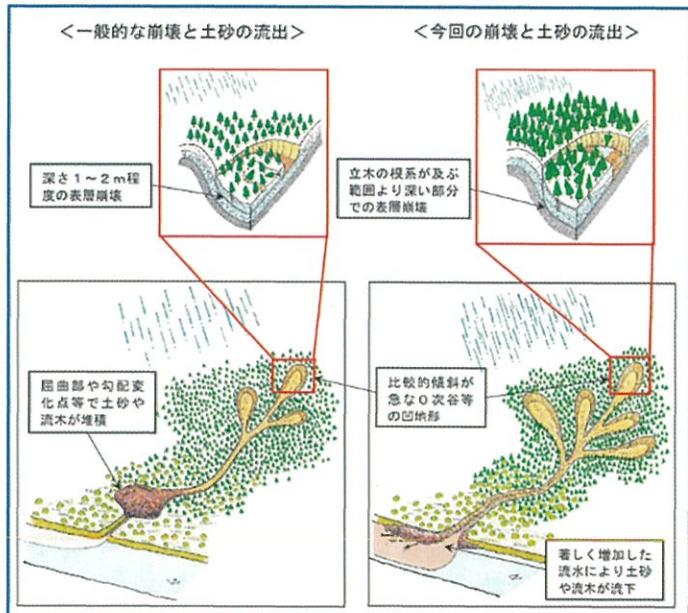
に基づく情報を発信していくことが重要であり、森林が有している機能を県民の皆さんにも正しく理解してもらうことが必要です。

本県では、平成20年度に創設された森林環境税による森林整備が継続されることが決定されました。現在、今回の災害の要因や防災対策を検証した上で具体的な取組を検討しているところです。また、資源活用研究センターでは、山腹崩壊等の発生状況の解析を行つており、この結果を今後の森づくりに生かすことができると考えています。今後も、関係者が一体となつて、災害に強い森づくりを進

向けた対策に懸命に取組まれています。林業関係においても、林地や林道等の復旧の取組みが進められており、このような対策により、関係者の方々の意欲が喚起され、林業活動が元の姿に戻つて再興することを願っております。

最後になりますが、被災地の皆様が平穏な生活を取り戻し、1日も早い復興が実現することを祈念し、今回の報告とさせていただきます。

山地災害のメカニズムと今回の災害の特徴



- 1時間降水量50ミリを上回る強雨が長時間連続する記録的豪雨が発生
- 多量の雨水が周辺森林から凹地形へ集中し土壌の深い部分まで浸透
- 立木の根系が及ぶ範囲より深い部分で崩壊が発生
- スギ・ヒノキ・広葉樹などの樹種の違いよりも地形条件等(雨量・地質・傾斜・地形)の違いによる影響が大きい
- 崩壊地に生育していた立木と崩壊土砂が著しく増加した流水により溪流周辺の立木や土砂を巻き込みながら下流域に流下

「流木災害等に対する治山対策検討チーム中間取りまとめ」(林野庁 平成29年11月)
(http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/tisan/171102.html)

図1 山地災害のメカニズムと今回の災害の特徴

作業班紹介

今回紹介する作業班は、主に福岡南支店管内で作業されている「庭職はやし」です。

代表の林さんは、平成12年に造園業を始められ、平成27年に福岡県が実施する林業への異業種参入促進事業により、同年より林産事業を2名体制で那珂川町や筑紫野市において活動しています。

昨年末までに、利用間伐約25ha、素材生産量2,200m³と組合事業に大きく貢献されており、先月より新規に1名を雇い入れるなど、福岡南支店の中心的な作業班となっています。

現在46歳の林さんは「今後も素材生産を増産できるようがんばります」と意気込みを語ってくれました。



作業風景



リスクアセスメント講習の様子

現業職員の一日(6)

現在、嘉飯山支店には、8名の現業職員が所属しており林産事業と利用事業に取り組んでいます。

林産現場では、グラップルやプロセッサー、フォワーダといった林業用機械を使用し森林作業道の作設から造材、搬出作業に取り組んでいます。

林産現場は急な傾斜の現場なども多々あり、様々な環境下では伐倒作業や機械の操作をするうえで危険な箇所が多くあります。現場での危険箇所を理解し安全に作業を進めていくために、毎日K・Y活動を行い、また、毎年外部講師によるリスクアセスメントに関する研修も行うなど安全に対する意識も高めています。

嘉飯山支店の現場作業員のなかには、林業に携わったばかりの若手作業員もいます。しかし、先輩作業員のしっかりと指導により安全に怪我をすることもなく現場作業に取り組めています。現場での作業は作業員同士の情報共有がとても大切です。班員同士でしっかりとコミュニケーションをとることで安全な作業、効率的な現場管理に繋がっています。



松保護士とは

(一財)日本緑化センターが主催で、講習会を実施し認定・登録を行う制度です。

全国的に流行して松を枯らしているマツ材線虫病について幅広い知識を持ち、被害現場に適した防除対策を考え、実際に作業指導を行なう専門家です。

平成29年4月現在全国で512名、福岡県内では25名が活躍しています。

当組合では7名の職員が管内海岸林等の松林を松くい虫の被害から守るための業務活動に取り組んでいます。



葉剤の樹幹注入の様子



散布車による薬剤散布の様子



ゆうれい坂看板



正一位出世稻荷神社の鳥居

また、この山道の途中には1年のうち春祭りでしかご開帳されない馬頭観音菩薩坐像がある海藏寺や、三里松原の眺望がすばらしい成田山不動寺など歴史ある社寺があり、春は沿道の桜の花が訪れる方を迎えてくれます。



下り坂に見えるが実は緩やかな登り坂

紹介シリーズ 第9回



岡垣町の国道495号線から波津海岸へ山道にある坂道を通称「ゆうれい坂」。

名前を見るといかにも怖そうな印象を受けますが、地元では不思議スポットとして有名なこの坂。ある箇所でボールを転がすと、あら不思議ボールが坂道をどんどんと登っていきます。地形が生み出す目の錯覚でこのような現象がおこるのですが、なんとも不思議な坂道です。

先人が植林し育てた松林を守り、白砂青松の海岸を取り戻すため、国・県・市町村と協力し松林保全対策(防除・駆除)を実施することが関係者の役務と考えます。そのためにも、被害発生の状況・原因の解明、各種防除・駆除に関する知識力、実践経験のある松保護士は、今後重要な役割を担うと思われます。

福岡県は、西の糸島市から東は豊前市までの玄界灘・響灘海岸線に黒松の樹林が広がっています。しかしながら特に平成23年以降、マツ材線虫病による松枯れが急激に増加し、一部地域では壊滅的な状況になっています。

海からの強風・潮風・海砂を防ぐ防風林の樹木として、松は適木と言えます。

当組合では7名の職員が管内海岸林等の松林を松くい虫の被害から守るための業務活動に取り組んでいます。



葉剤の樹幹注入の様子



散布車による薬剤散布の様子



ゆうれい坂看板



正一位出世稻荷神社の鳥居

また、この山道の途中には1年のうち春祭りでしかご開帳されない馬頭観音菩薩坐像がある海藏寺や、三里松原の眺望がすばらしい成田山不動寺など歴史ある社寺があり、春は沿道の桜の花が訪れる方を迎えてくれます。



下り坂に見えるが実は緩やかな登り坂

篠栗町 七福星まつり

今回は、篠栗町にあります呑山観音寺にて毎年執り行われる、七福星まつりをご紹介いたします。

七福星まつりは、呑山観音寺の春季大祭、厄除け祈願のおまつりです。天王院の境内で執り行われ、四大行事の中でもっともにぎやかなおまつりです。



七福星まつりの様子



七福宝銭まき

てもにぎやかです。
また、参道にて行われる、七福神

が僧侶・年男・年女と練り歩く「七福神行列」や、子どもたちと一緒に歩く「七福稚児行列」も見どころの一つです。

今年は左記の日程にて開催されますので、ご家族で参加されてみてはいかがでしょうか。

詳細は呑山観音寺HPをご参照ください。



七福稚児行列

山の幸紹介

イノシシ肉のカツ

作り方

- ① 薄くスライスし、スジを切る
- ② イノシシ肉に塩麹を塗る
- ③ 小麦粉と溶き卵に交互につける
- ④ パン粉をつけてじっくり揚げる



『開催場所』

糟屋郡篠栗町萩尾227の4
呑山観音寺天王院本堂・境内特設舞台

『開催日時』
平成30年3月11日（日）
午前10時より

場外の特設ステージでは七福神
が舞い踊り、「七福宝銭まき」がお昼
と午後の二回に分けて行われます。
宝銭は今年一年の商売繁盛・金運・
無病息災を祈念したお守りです。

星まつりは弘法大師によつて伝
えられた仏教（真言密教）独自の東
洋占星術による厄払いです。
「宿曜經」というお経にもとづい
て、各人ひとりひとりの生まれ星と

の演奏が鳴り響き、お祭り騒ぎでと
おはらいをお勧めします。

092・947・4423
(午前9時～午後5時)

職員紹介

Vol.10



とみやす けんたろう
①富安 謙太郎
②福岡西支店
事業課
技師
③林産

- ④ラーメン屋巡り
⑤座右の銘
不斷の努力



うしお あつひと
①潮 敦仁
②本店
事業課
主任技師
③森林整備

- ④読書 おすすめの本／
「塩狩峠」三浦綾子
「木ワイトラビット」伊坂幸太郎
⑤好きな言葉
「今日という日には、誰もが素人だ。」



おやま よういち
①小山 洋一
②嘉飯山支店
機械整備センター長
③機械整備
④車関係

- ⑤コメント
信頼していただけるアフターサービスを心掛けています。



ふじの しんご
①藤野 真吾
②福岡南支店
那珂川加工場
主任技師
③製材・加工

- ④釣り・日曜大工・B B Q
⑤好きな言葉
我が生涯に一片の悔いなし！
一日一日悔いのない仕事、生活ができるよう心掛けています。

このコーナーでは、各地で日々業務に励んでいる職員をご紹介します。

《記載内容》

- ①氏名 ②所属・役職
- ③担当 ④趣味
- ⑤コメント・座右の銘等



くすもと たかまさ
①楠本 高正
②本店
原田加工場
係長
③製材・加工

- ④一家団欒
⑤好きな言葉
一生健康

脊振山地の山容は飛龍が背を振るった姿にたとえられ、昔は脊振千坊と称されるほど坊舎が栄えていたそうです。



今回ご紹介する山は、福岡県と佐賀県の境に位置し福岡市の南側にある脊振山系の最高峰・脊振山です。日本三百名山になっており標高は1055mで市街地からでも天気が良ければ気象庁や自衛隊のレーダーが山頂近くの目印として見ることができます。頂上は360度のパノラマで弁財天を祀る脊振神社があり歴史を物語ります。

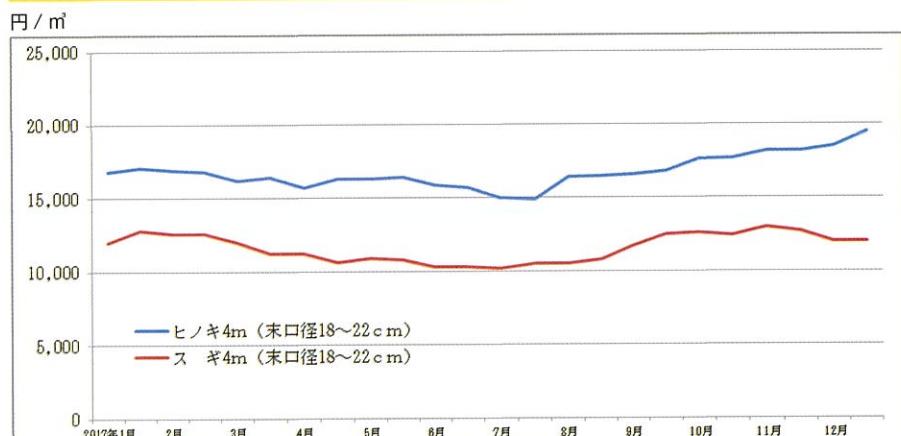


福岡市を代表する山の一つとしてご紹介しましたが機会があればぜひ訪れてみてください。

頂上までは車で行けますが、九州自然歩道を尾根づたいに西に約60分歩いて行くと眺望の素晴らしい唐人の舞に到着します。昔唐の人々がこの地を訪れた時ふるさとを思いここで舞つたと伝えられています。もう少し足をのばし約60分で椎原峠を過ぎると鬼ヶ鼻岩に到着します。ここは絶景の眺めを楽しみながら休憩をとる場所でもあり、大岩が鬼の鼻のように見えるのでそう呼ばれるようになつたようです。また季節ごとに脊振山系を訪れるミツバツツジやオオキツネノカミソリなど美しい花々とも出会うことができます。

▲山の紹介▼

スギ・ヒノキ木材価格の推移（福岡県森林組合連合会 浮羽事業所市況より）



市況の動向

素材価格は、昨年秋以降高値維持となっています。要因として、市場での需要と供給のバランスがとれていない事などが挙げられます。特にヒノキの柱材は、市場での取扱量が少なく高騰しています。

年明けの現在、平均のスギ12,000円、ヒノキ17,000円。ヒノキ材の高値は今しばらく続くと見込まれますが、スギ材・ヒノキ材共に安定した価格での取引に今後も期待したいところです。

機械展示会開催のお知らせ

平成30年4月20、21日の2日間嘉飯山支店にて機械展示即売会の開催を予定しています。

チェンソーや刈払機等を販売いたしますので、お気軽に立ち寄りください。



組合員の皆様へ

各種届出のお知らせ～手続きはお済みですか?～

★名義変更手続きについて

組合員の方がお亡くなりになられている場合は、組合員たる資格を有する（森林所有者）相続人により名義変更手続きをお取りください。

★後継者届による名義変更手続きについて

組合員の方が森林の経営を委託する者（同一世帯の者）がいる方は、後継者届により名義変更の手続きをお取りいただくことができます。

★届出内容の変更について

組合員資格を失ったとき、または住所・氏名等に変更があったときは手続きをお願いします。

各種手続きには必要な書類等の添付もありますので、お気軽に支店・支所へお問い合わせください。